

田染莊小崎+田染莊 御田植祭/収穫祭

田染莊小崎は豊後高田市から内陸側、国東半島の南西部にある田園地帯です。平安時代（794-1185）を通じて、この地域は大分県の宇佐神宮により治められていました。今日ではこの土地はコメの栽培に利用されており、風景は 11 世紀当時からほとんど変わらずに残っています。

1981 年に始まった考古学調査以降、この地域には商業開発が入っていません。その代わり田染莊小崎は 2010 年に日本の重要文化的景観に指定され、またこの盆地は、独特の景観のために研究対象となってきました。古来の田んぼを連想させる不均一な形の水田、そしてこの地域の豊かな歴史が大きな特徴です。景観上の意義とは別に、この地区が保存されてきたことにはこの地で暮らす人たちがどのように環境と対峙してきたかも明らかにします。

この地域では田植え祭と収穫祭が開催され、来場者は伝統的な衣装を着て地元の人々とともに田植えや収穫を実地体験できます。毎年恒例の田植え祭は通常 6 月に、収穫祭は 10 月に行われます。その他観光に人気の時期は、田染盆地がお祭りの灯りに彩られる秋や冬、また無数のホタルが空に光る 6 月です。